

出の山公園について

出の山公園は、昭和60年環境庁（現環境省）「名水百選」に認定された出の山湧水を有し、平成元年、同庁「ふるさといきものの里百選」に選ばれました。養殖ではない自生による天然のゲンジボタルの里として有名。

ホタル保護条例

すばらしい自然をいつまでも残すために、小林市は『ホタル保護条例』を平成4年に制定しました。むやみに、ホタルや周辺の植物・土などを採ると罰せられます。みんなでホタルとその周りのいきものや環境を守りましょう。

出の山公園ゲンジボタルの一生



ホタルの一生

- ①ホタルの幼虫は、小川の水の中で棲息します。
- ②幼虫期は、一般にカワナを捕食しています。出の山のホタルはコモチカワツボを食べています。
- ③4月上旬から下旬の雨の夜に、ホタルの幼虫は水中から陸に上がって、土中に潜り、さなぎになります。
- ④さなぎは、約1ヶ月間で羽化し成虫となり飛びかい、生殖期を迎えます。
- ⑤成虫の生存期間は10日前後と言われています。オスは交尾を終えると一生を終え、メスはその後コケなどに産卵をして一生を終えます。
- ⑥卵は1ヶ月後ふ化して幼虫となります。

ホタル発生時間帯
(多く飛んでいる時間)

20時～20時30分頃

ホタル日和とは

ホタルは、気温と湿度が高く、風の無い日の夜に多く発生するようです。人間にとって、不快指数の高い日というわけです。